みんな元気に ワッショイ 多様な連携 はぐくむ絆

あなたは参加していますか

防災町民運動会（4月・伴小）
町内会連合会など実行委。全世代交流

キッズ王国（7月・公民館）
女性会・伴っ子クラブなど主催

夏休みラジオ体操（7～8月・各地区）
子どもと大人参加

伴学区クリーン作戦（9月）
各団体参加

伴児童館まつり（10月）
伴っ子クラブ・社協・民児協・青少協など協力

神輿行列（11月・岡崎神社）
各町内会　子どもと大人参加

ふるさと祭り（11月・沼田公園）
連合会など実行委　全世代交流

垣根を越えて議論
伴学区エルモ

みんなの力を束ねて住み良い、元気なまちをつくる伴学区エルモ。参加十四団体は、社協や町内会のほか、NPOや協同労働団体など多様な顔ぶれです。各団体の賛同を得て、十月に設立準備委員会が発足。三回の会合を重ねました。例えば美化活動をめぐり、委員からこんな意見も―。

小学校の夏休みの親子ふれあいタイム。学校を利用する体協メンバーが、新学期を前にPTAの校内清掃を手伝います。公衛協の委員が「私たちも加わりたい」と提案し、PTA委員が歓迎。町内会一斉清掃も「子どもが参加すれば、教育の効果も」と意見を述べました。美しい通学路・散歩道づくりへと議論が進めば、さらに地域の活動の新たな芽生えにもなります。

多彩な顔ぶれが連携して地域の未来を探る
（7月26日・沼田公民館）

まちづくり論議の糸口は、地域や団体の枠を越えた連携と交流です。横に串を刺すように考えれば選択肢が増えます。この横串のやり方が地域を担う人材の活用・発掘に役立つかもしれません。

広島市によると、この広島型運営組織に十二月現在、市内百四十一学区のうち四分の一を超す四十学区が取り組み。十七学区が認定されています。

例として、団体や世代の垣根を超えたネットワーク▽子どもの地域行事の担い手参加▽小中高校とまちづくり連携協定▽地域の課題解決に大学と連携▽多世代交流の認知症カフェ開設などが挙がっています。

× × ×

エルモとはLocal Management Organization（地域運営組織）の略です。

エルモ参加団体

伴学区社会福祉協議会▽伴学区町内会連合会▽伴学区老人クラブ連合会▽伴地区民生委員児童委員協議会▽伴地域女性会▽伴学区体育協会▽伴学区公衆衛生推進協議会▽伴小学校PTA▽特定非営利活動法人沼田まちづくり協議会▽協同労働団体アグリアシストとも▽広島市安佐南工場及び西風館周辺五町内会連絡協議会▽アートな伴クラブ▽伴っ子クラブ

赤い羽根共同募金（11月・沼田公園）
社協・民児協受付

伴社協スポーツイベント
（11月・伴小体育館）
親子参加

伴社協グラウンドゴルフ大会
（3月・広域公園）
体協・老人会連合会共催

はぐくみ食堂（毎月第3日曜・公民館）
NPO主催。全世代交流

あんしんネット五年 研修会
～地域でつながる大切さ コロナ禍で認識

地域と連携した高齢者の見守り活動をする伴学区の「伴あんしんネット」の研修会が八月、沼田公民館で開かれ、コロナ禍で地域の交流が減った中、高齢者にとって「つながり」の大切さが浮き彫りにされました。

見守りが五年たち、伴社協と安佐南区地域支え合い課、戸山・伴・大塚地域包括支援センターが共催。ご近所クリエーターの酒井保さんを講師に迎え、見守り協力員や福祉委員、女性会の会員ら五十四人が出席しました。

コロナ禍で介護認定率や認知症の出現率が上昇▽地域活動の低下で健康寿命に悪影響―などが報告。

寿命に影響する生活習慣についてつながりがトップの要因という研究発表も披露され、人間関係・社会性・地域支え合いの大切さが指摘されました。

家に閉じこもらず外に出て人と交わる―サロンや集いの場、コミュニティ活動、何気ない声掛けなどの近隣のつながり合いが、お年寄りの「社会性」を維持し、フレイル（虚弱）やサルコペニア（筋力低下）対策にもつながります。

包括支援センターの小田尚社会福祉士は「高齢者の目線に立って共に支え合う『見守られ活動』の理解を広げたい」と話しています。

つながりの重要性を説く酒井さん（8月5日・沼田公民館）

寿命に影響する生活習慣

①人間関係・つながりがある
②たばこを吸わない
③お酒を飲み過ぎない
④運動をする
⑤太り過ぎない

伴あんしんネット

一人暮らしのお年寄りや支援が必要な高齢者を近隣の協力員が見守る。高齢者登録者は現在三十三人。いつもの挨拶、さりげない声掛けで寄り添います

地域包括支援センター内
伴あんしんネットの会
電話（八四九）五八六〇

短信 ボランティアバンク「とも」

ひとり暮らし・高齢世帯のみなさんが、安心して暮らし続けるお手伝いをします。庭の草取り・草刈り、蛍光灯の交換、障子の張替、通院介助…。家周辺の作業や室内の作業など多岐にわたっています。

また、お手伝いいただける会員も募っています。元気なお年寄りは地域の福祉の担い手です。

連絡先　沼田老人いこいの家
電話　八四八―三二七七

庭木の剪定

令和五年度福祉委員のみなさん

副部長　国光　克恵（三城田）
【奥畑】山田　敏江▽玉代　久子▽平本　克枝
▽香川　道子▽引地　葉子
【上佳】木村　恵子▽薬師小壽枝
【伴中央】田中　操▽西尾満寿子▽中川美穂子
【三城田】田所　和子▽中本ひとみ▽松田　暁枝
【大原】有馬美枝子▽岡本　純子
【グリーンヒル大原】網本美紀子▽長本　千恵
【ライオンズM大原】加藤　栄治
【雲願寺】岡島　馨▽柿本　公
【細坂】天王あつ江▽有馬智映子
【広陵】原　信子▽小川眞智代▽前川　澄江
【大下中畑団地】岡松キヌコ▽臼井冨美子
【瀬戸内苑団地】保田　伸子▽新井本裕実
【寿団地】高矢勢津子▽森川　雅江
▽城本ともえ
【若葉台】岩﨑　静子▽濱中　綾子
（敬称略）